

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

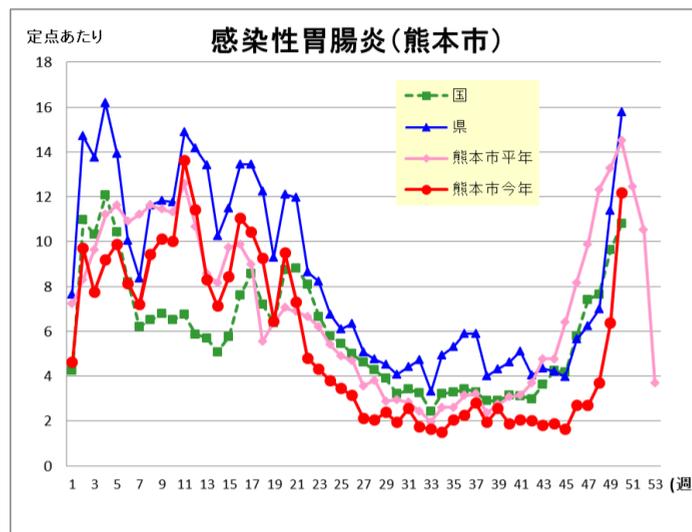
感染性胃腸炎が増えています。

今週の感染性胃腸炎の報告数は195件と急増しました。
 冬に流行する胃腸炎の原因の多くは、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものです。
 ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染し、嘔吐、下痢、腹痛などの症状を起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもさんやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせて亡くなることがあります。ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療も対症療法に限られますので、周りの方々と一緒に以下の予防対策を徹底しましょう。

《予防対策》

- ①食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
- ②下痢や嘔吐などの症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- ③胃腸炎の患者さんに接する方は、患者さんの便や吐物を適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。

※特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう。



期 間		第49週		第50週	
		12/1～12/7		12/8～12/14	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	流行中 ↑	2	0.08	24	0.96
RSウイルス感染症	→	16	1.00	17	1.06
咽頭結膜熱(プール熱)	→	4	0.25	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	27	1.69	32	2.00
感染性胃腸炎	流行中 ↑	102	6.38	195	12.19
水痘(みずぼうそう)	→	14	0.88	13	0.81
手足口病	↑	22	1.38	31	1.94
伝染性紅斑(りんご病)	→	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	→	14	0.88	12	0.75
百日咳	→	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	→	0	0.00	2	0.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	1	0.06	3	0.19
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	9	1.80	8	1.60
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00